

神のエコノミーのために、神の統治の下で、 クリスチャン生活と召会生活をする

メッセージ 2

神の統治の下でクリスチャン生活をする

聖書：Ⅰペテロ 1:17, 2:21-24, 4:17-19, 5:6

I. ペテロの第一と第二の手紙は、神の宇宙的な統治についてです：

- A. ペテロの第一の手紙の主題は、神の統治の下にあるクリスチャン生活です。特に神が彼の選びの民を取り扱うことでの、神の統治を見せています——1:2。
- B. ペテロの第二の手紙の主題は、神聖な備えと神聖な統治であり、これは神がわたしたちを統治しているとき、わたしたちが必要とするものをすべて供給することを見せています——1:1-4, 3:13。
- C. 神は裁くことによって統治します。神の裁きは彼の統治を遂行するためです——Ⅰペテロ 1:17, 4:17：
 - 1. ペテロの第一と第二の手紙は神の統治に関するものであるもので、これらの手紙で神の裁きと主の裁きが、主要な項目の一つとして繰り返し述べられています——Ⅰペテロ 2:23, 4:5-6, 17, Ⅱペテロ 2:3-4, 9, 3:7。
 - 2. 各種の裁きを通して、主なる神は全宇宙を一掃し、きよめて、新しい天と新しい地を持ち、彼の義に満ちた新しい宇宙とならせ、彼の喜びとします——13節。
- D. Ⅰペテロ第1章17節の裁きは、御父が執行する裁きであり、それは将来の裁きではなく、神が現在、日ごとに、統治上、彼の子供たちを対処する裁きです：
 - 1. 御父はわたしたちを再生して、聖なる家庭を生み出しました。その聖なる家庭とは、聖なる御父と聖なる子供たちです——3, 15, 17節。
 - 2. 聖なる子供たちとして、わたしたちは聖なる生活様式の中を歩くべきです(15-16節)。そうでないと、父なる神は彼の統治において裁き主となり、わたしたちの聖でないことを対処します(4:15-17, ヘブル 12:9-10)。
- E. 神の統治における懲らしめる裁きは、神の家から始まります——Ⅰペテロ 4:17：
 - 1. 神は彼の統治に符合しないすべてのものを裁きます。ですから、この時代にわたしたち、神の子供たちは、神の日ごとの裁きの下にいます——1:17。
 - 2. 神は彼の統治上の管理の裁きの中で、烈火のような苦難を用いて信者たちを対処します。この裁きは彼ご自身の家から始まります——4:12,

17。

3. この裁きの目的は、わたしたちが霊の中で神にしたがって生きようになることです——6節。

II. ペテロの文書の尊さは、彼がクリスチャン生活と神の統治を結合して、クリスチャン生活と神の統治が、対になって並行することを啓示していることにあります——I ペテロ 1:17. 2:21, 24. 3:15. 4:17. 5:5-8:

A. 三一の神はキリストの中で長い過程を経過して、命を与える霊と成り、わたしたちの中に住みました。これはわたしたちのクリスチャン生活のためです——ヨハネ 1:14. 14:17. I コリント 15:45 後半. 6:17。

B. それと同時に、三一の神はなおも宇宙の創造主であり、またその支配者です——I ペテロ 4:19。

C. わたしたちは神から生まれて霊の命を持ち、新創造となりましたが、なおも旧創造の中にあります——ヨハネ 1:12-13. 3:3, 5-6. II コリント 5:17:

1. こういうわけで、わたしたちは神の統治上の対処を必要とするのです——I ペテロ 1:17。

2. クリスチャンの命が成長するために、わたしたちは神の統治の取り扱いを必要とします——2:2. 4:17. II ペテロ 1:5-7。

III. 主イエスは地上にいたとき、完全に神の統治の下にある人の生活をし、彼に関するすべてのことを神の統治にゆだねました——ヨハネ 6:38. I ペテロ 2:21-23:

A. 主はご自身のすべての辱めと傷を、統治の中で義しく裁く方、義なる神にゆだね続け、ご自身をこの方に服従させました。主はこの義なる方に信頼し、この方の統治を承認しました——23節。

B. 神が人としてのキリストに助言したとき、キリストの内なる各部分は神との接触を通して、神と一であり、彼を教えました——詩 16:7. イザヤ 50:4。

IV. わたしたちはキリストにある信者、また神の子供たちとして、神の統治の下にあるクリスチャン生活をすべきです——ヨハネ 3:15. 1:12-13. I ペテロ 4:13-19. 5:6-8:

A. ペテロの手紙が啓示しているキリストは、神が苦難を通して執行する統治上の対処を、わたしたちが受け入れることができるようにしてくださる方です——I ペテロ 1:6-8. 2:3-4, 19, 21-25. 3:18, 22. 4:1, 15-16. 5:8-9。

B. わたしたちは寄留の時を、聖なる畏れのうちに過ごすべきです。この聖なる畏れとは、健康で真剣な用心深さのことであり、わたしたちを導いて、すべての生活様式において聖とならせます——1:15, 17。

- C. わたしたちは、神の統治を執行する力ある御手の下にへりくだらされているべきです——5:6 :
1. 6節で、「神の力ある御手」は、神の行政を執行する御手を指しており、特に彼の裁きにおいて見られます——1:17 . 4:17。
 2. 神の力ある御手の下にへりくだらされるとは、神によってへりくだるようになされることです。しかしながら、わたしたちは神の働きと協力し、進んで神の力ある御手の下にへりくだらされ、低くされなければなりません——5:6。
- D. わたしたちは自分の魂を、信実な創造主にゆだねるべきです——4:19 :
1. 神はわたしたちの魂を保護することができ、彼の愛する信実な顧みは、彼の統治上の管理の中の公正を伴います。
 2. 神は彼の統治においてわたしたちを裁いているとき、信実に彼の愛の中でわたしたちを顧みています。わたしたちは彼の取り扱いの裁きを受けているとき、自分の魂をわたしたちの創造主の信実な顧みにゆだねるべきです——マタイ 10:28 . 11:28-29。
- E. キリストの死の中で、わたしたちは罪に死にました。それによってキリストの復活の中で、わたしたちは神の統治の下で義に生きます—— I ペテロ 2:24 :
1. 神の統治は義の上に確立されます(詩 89:14 前半)。彼の統治の下で生きる神の民として、わたしたちは義なる生活をしなければなりません。
 2. 「義に生きる」という表現は、神の統治上の要求を満たすことと関係があります—— I ペテロ 2:24 :
 - a. わたしたちが救われたのは、神の統治の下で正しく生きるため、すなわち、神の統治の義なる要求にふさわしく生きるためです。
 - b. わたしたちはキリストの死の中で、罪から分離され、彼の復活の中で、生かされました。それは、わたしたちがクリスチャン生活の中で、自然に神の統治の下で義に生きるためです——ローマ 6:8 , 10-11 , 18 . エペソ 2:6 . ヨハネ 14:19 . II テモテ 2:11 。